

スクールカウンセラー配置事業の
成果と課題
—学校臨床心理士の立場から—

立正大学大学院教授
岡本 淳子

- I .事業の発展と成果
- II .「学校心理臨床の専門性」の確立
- III .「外部性」の活用の成果
- IV .今後の課題

I .事業の発展と成果

II .「学校心理臨床の専門性」の確立

III .「外部性」の活用の成果

IV .今後の課題

I. 事業の発展と成果

1. 統計的に現れた成果
2. 学校における問題行動をめぐる実態
3. 地方自治体スクールカウンセリング単独事業への波及
4. 地方自治体教育委員会における活用
5. 学校・保護者からの評価
6. 緊急支援体制の構築
7. スクールカウンセラー研修と組織的バックアップ体制機能の確立

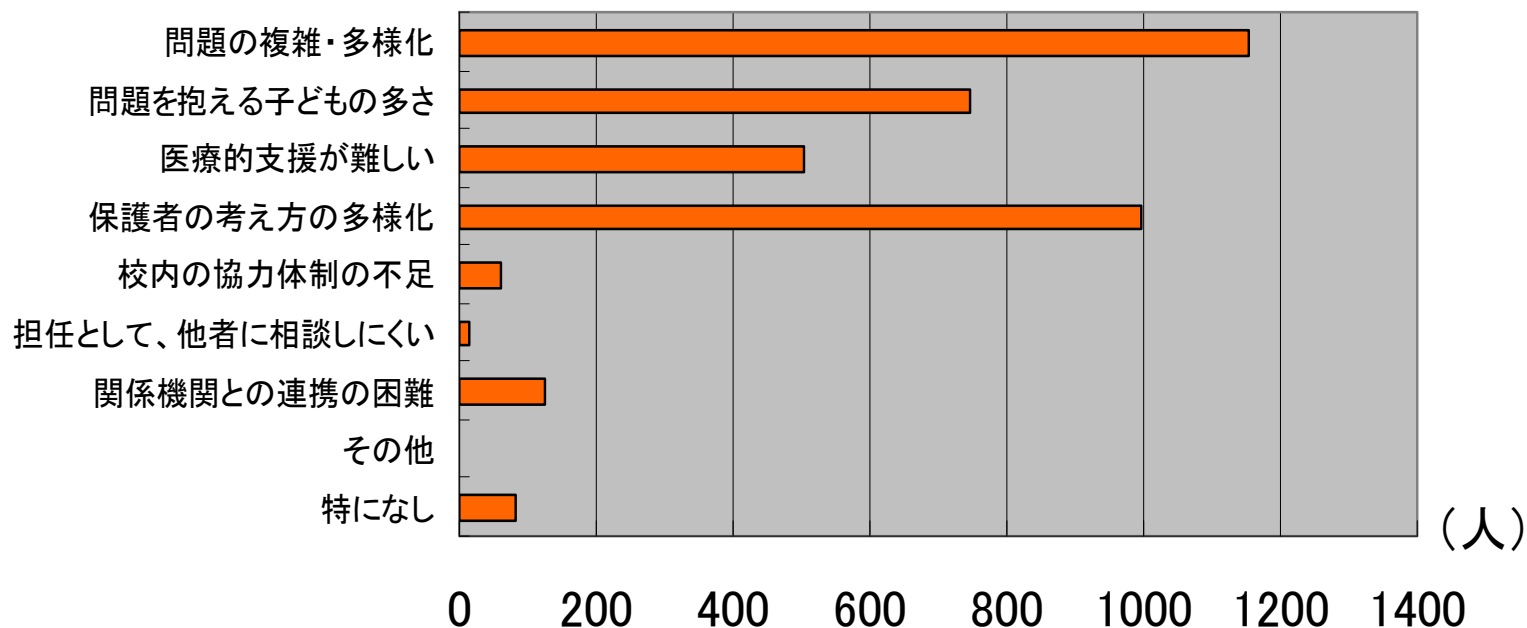
1. 統計的に現れた成果

(1) 配置者数の増加

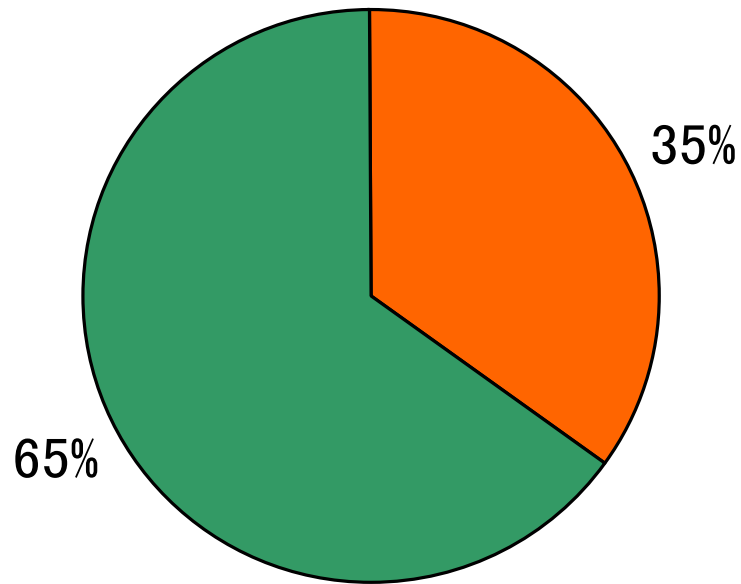
(2) スクールカウンセラーの活動実績

2. 学校における 問題行動をめぐる実態

〈担任〉「子どものメンタルヘルスに関する問題」の支援に当たっての課題

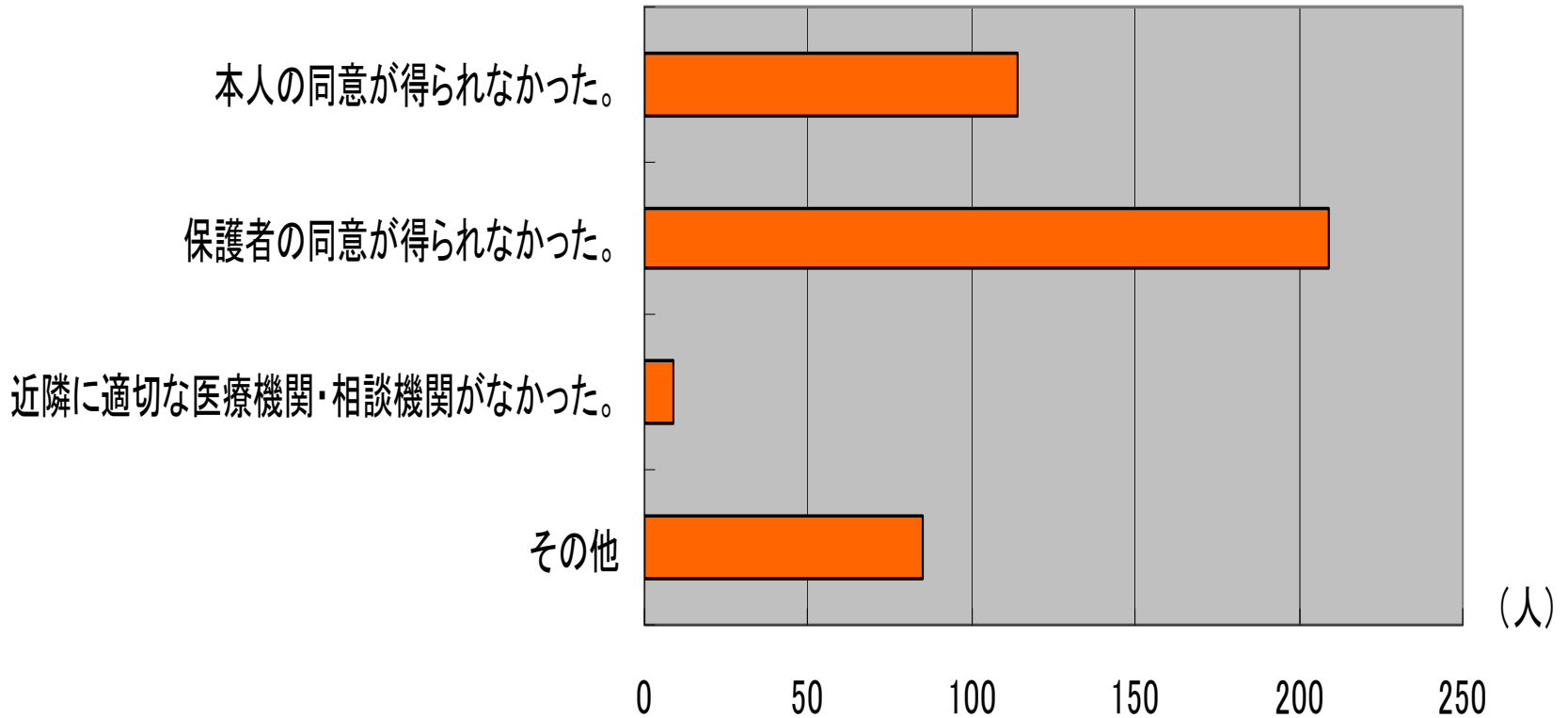


不登校生徒の外部機関での相談・指導・受診割合



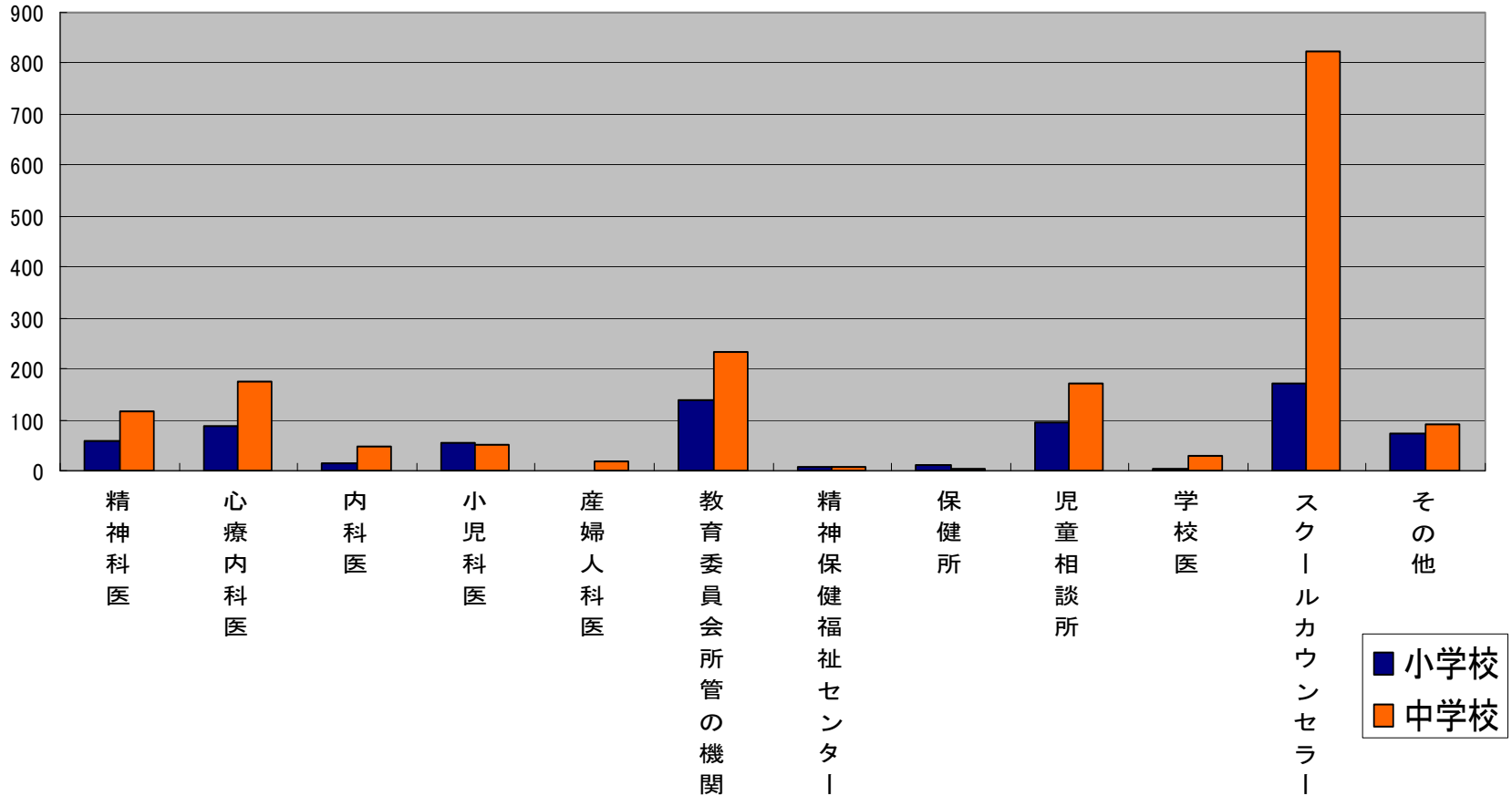
- 外部機関で相談・指導・治療を受けた
- 外部機関で相談・指導・治療を受けなかった

＜養護教諭＞ 受診等をしなかった主な理由

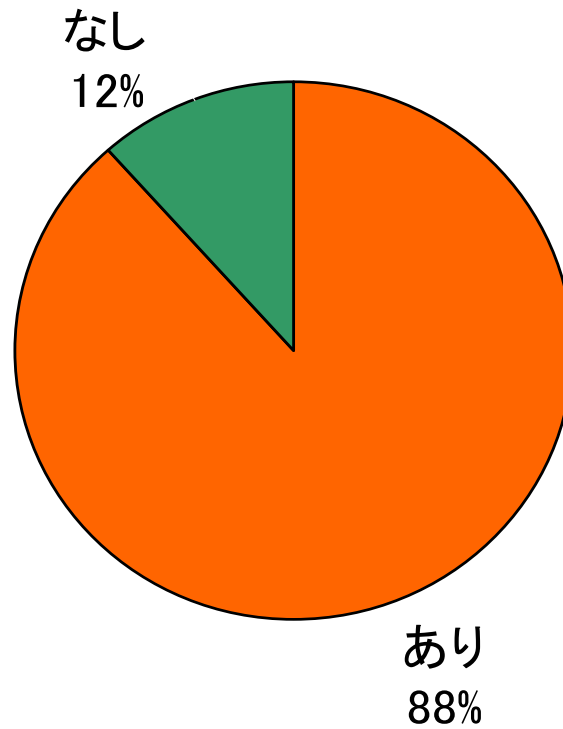


＜学級担任＞メンタルヘルスに関する問題での専門家の活用

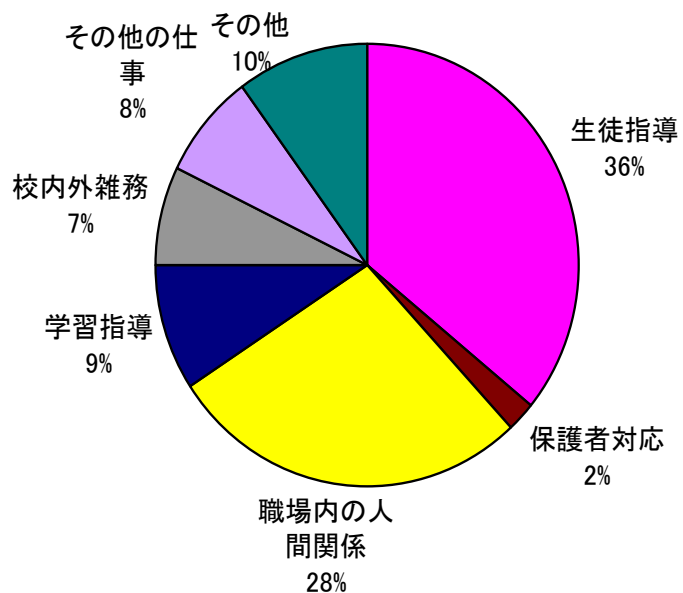
(人)



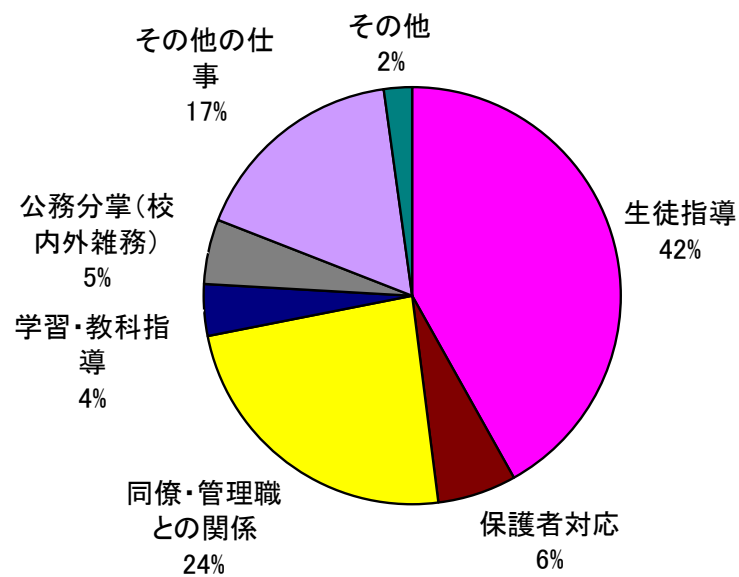
＜養護教諭＞ 保健室登校・別室登校をした
子どもがいた学校の有無(中学校)



教師群における職場内ストレス(1998)



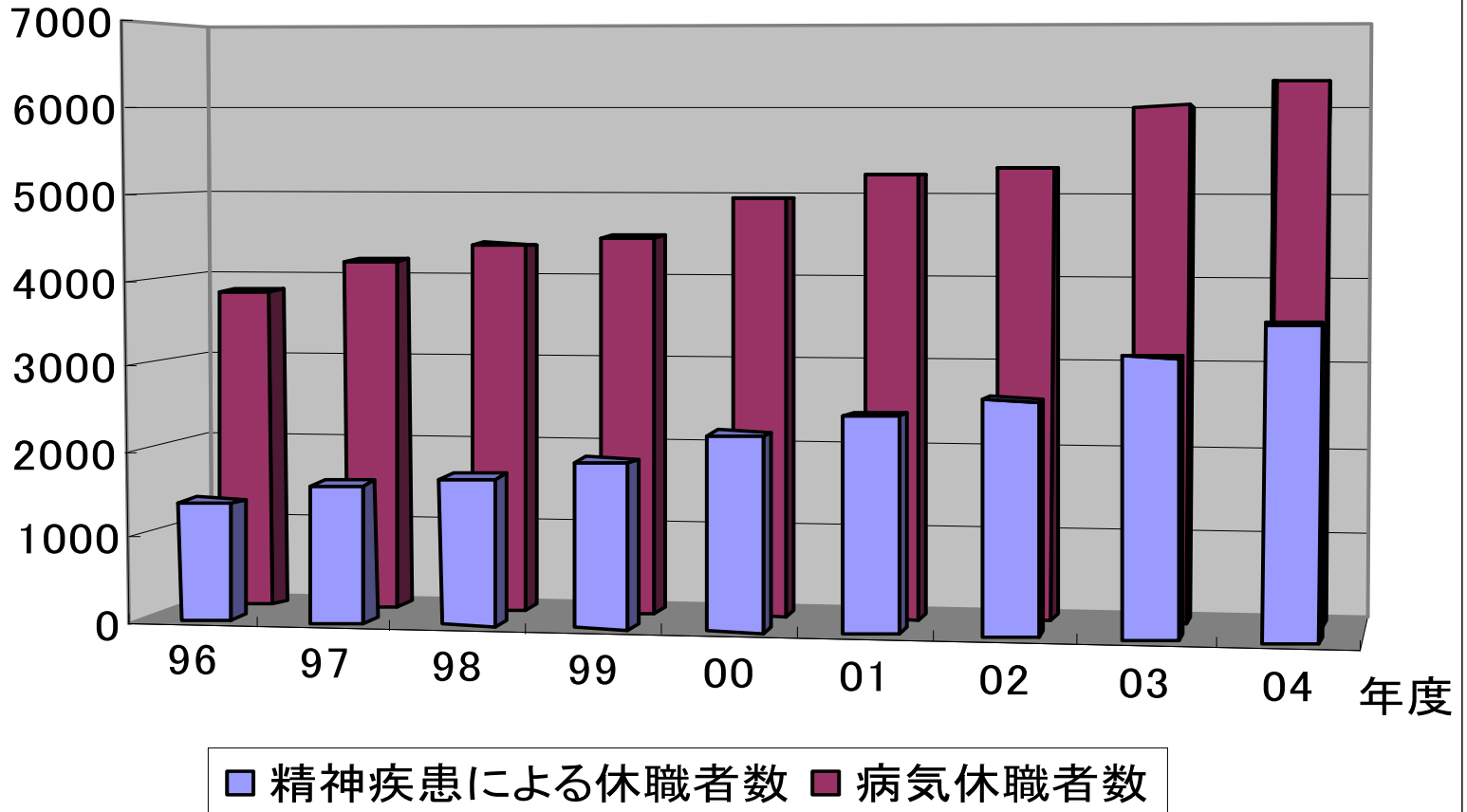
(2006)



(中島一憲、2006より作成)

公立学校教員の病気休職者数の年次推移

(人)



(中島一憲、2006より作成)

3. 地方自治体スクールカウンセリング 単独事業への波及

例) 東京の場合...

東京都配置事業(国補助事業)から、

- 区単独事業
- 市単独事業

についても普及。

4. 地方自治体教育委員会における活用

表 教育委員会からの支援要請(緊急支援以外)

要請内容	要請件数	実施県	備考
教員研修会講師	125プラスその他	27	多数にて出講にて把握できない県もあり(6県)
教員採用面接試験	162	17	他に不適格教員審査委員
会議・委員会等委員	11	10	事例集検討委員会・道徳教育推進会議・豊かな体験活動推進事業・次世代育成支援対策地域協議会・家庭教育活性化支援委員・開かれた生活指導推進協議委員・名古屋っ子学びのあり方懇談か委員・不登校児野外活動支援委員・児童生徒育成支援会議・地域保健連携推進事業・県健康教育会議・教育基本計画推進協議会・定時制通信制ステップアップ協議会・ピアサポート活動支援協議会・地域教育相談推進事業会議 等
スクーリング・サポート・ネットワーク委員会等	多数	10	不登校検討委員会・不登校対策会議・地域教育相談推進事業会議・不登校対策推進会議委員不登校児童生徒適応支援連携協議会・不登校児対策アクションプラン実施検証委員会・不登校児対策野外活動「金太郎キャンプ」・不登校対応委員会・不登校対策委員会・不登校対応事業「ワクワクキャンプ」 等
スーパーバイザー・アドバイザー	多数	3	
各種派遣スタッフ・巡回アドバイザー	多数	5	適応指導教室巡回アドバイザー・特別支援教育巡回・カウンセラーアドバイザー制度・家庭教育アドバイザー 等

(平成17年度 学校臨床心理士ワーキンググループ調べ)

5. 学校・保護者からの評価

(1) 学校からの評価

① 調査結果(伊藤美奈子 2000.3)

概ね良好

② 配置をめぐる学校の声

「できるだけ配置を。」

「なぜ配置が外されたか！」

(2) 保護者からの評価

保護者のスクールカウンセラーへの 相談内容

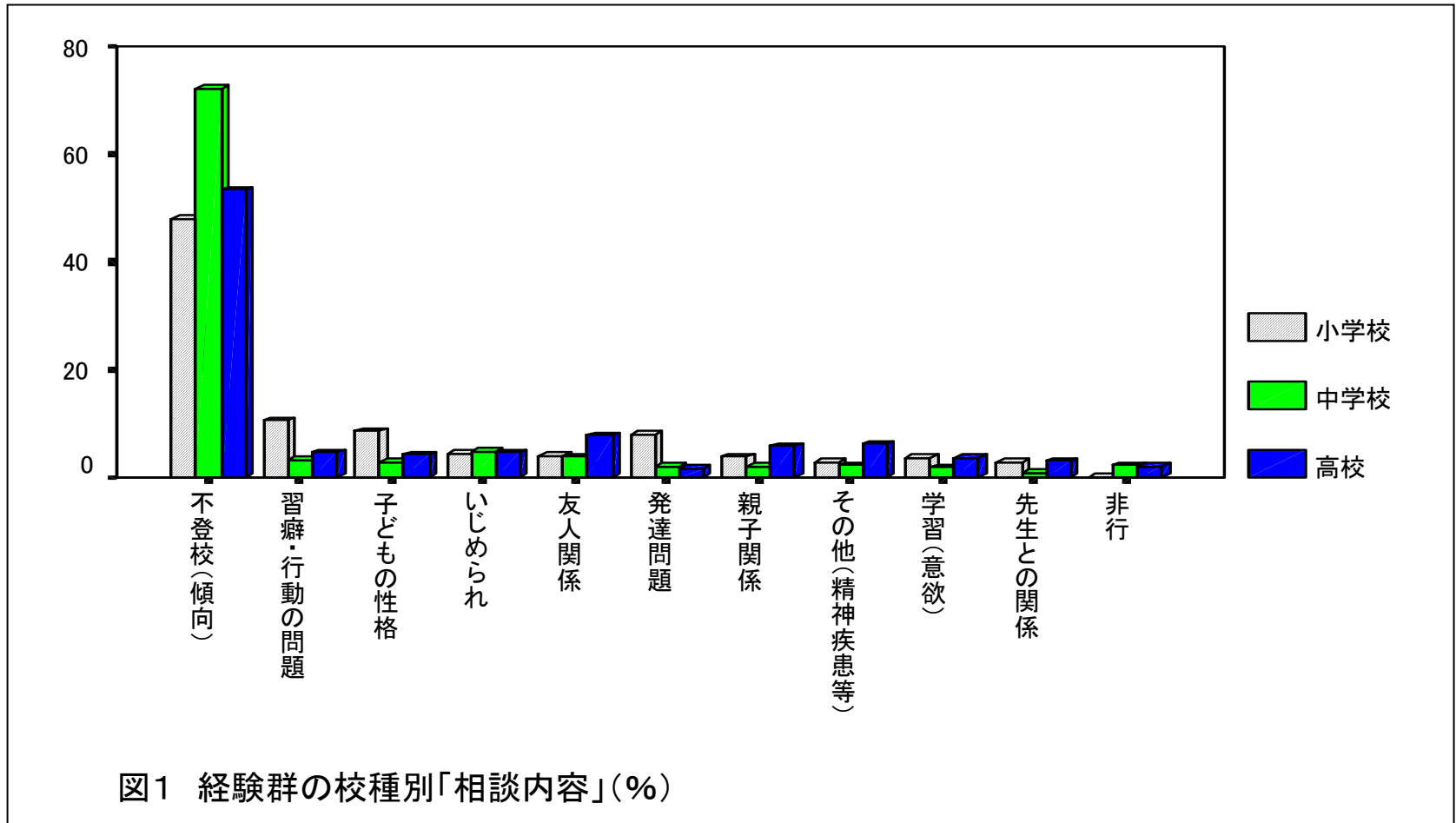
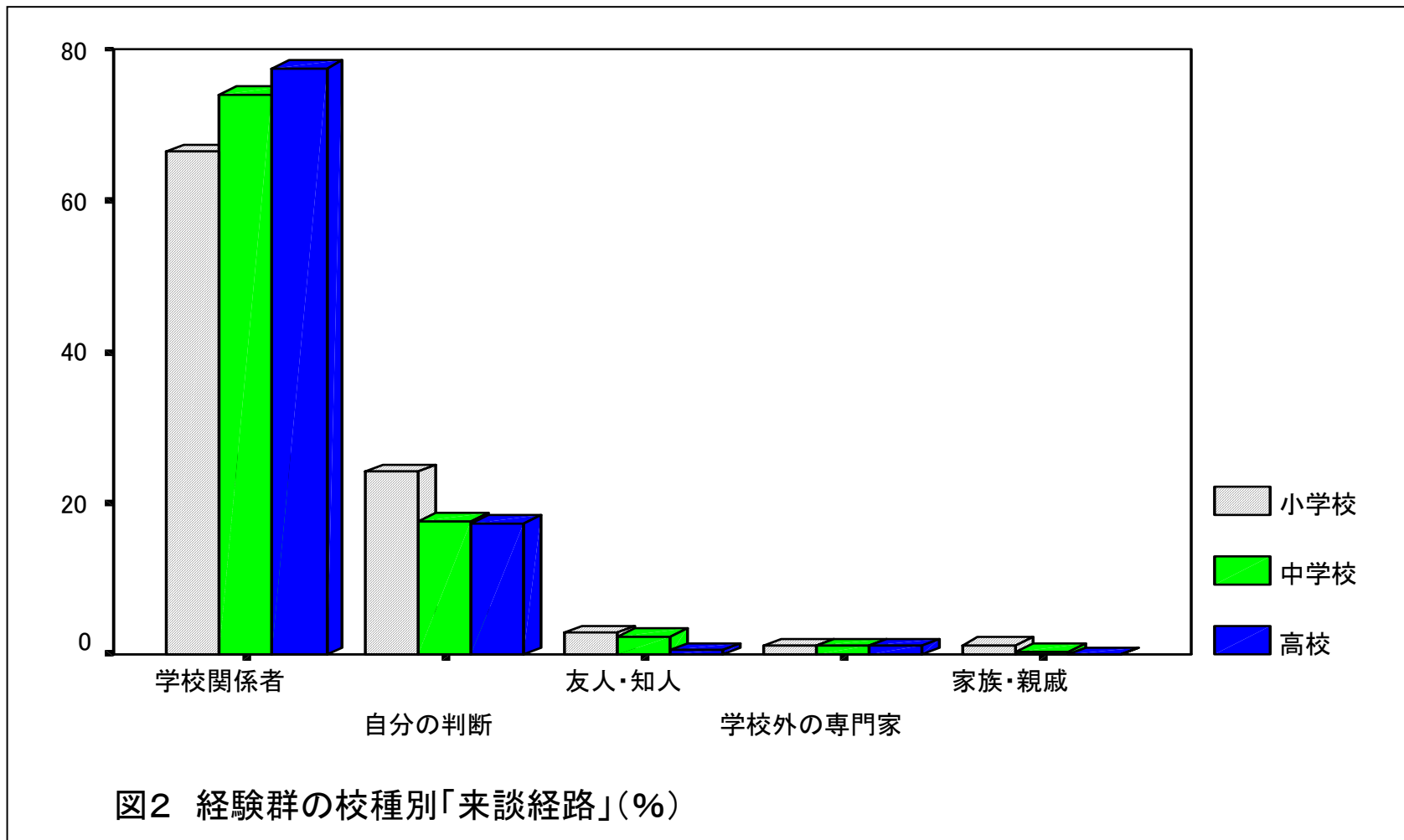


図1 経験群の校種別「相談内容」(%)

スクールカウンセラーへの来談経路



スクールカウンセラーの相談イメージ

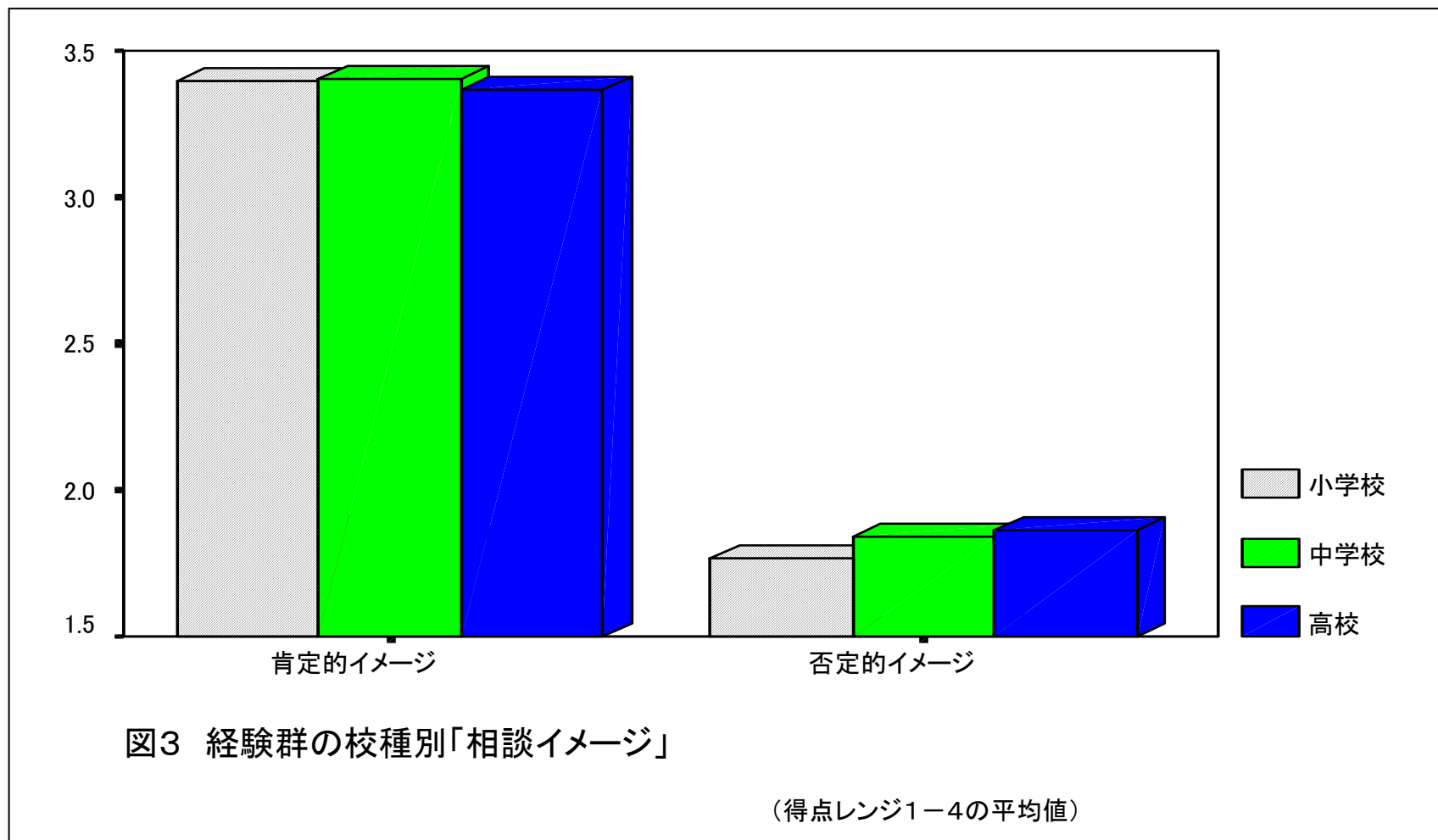
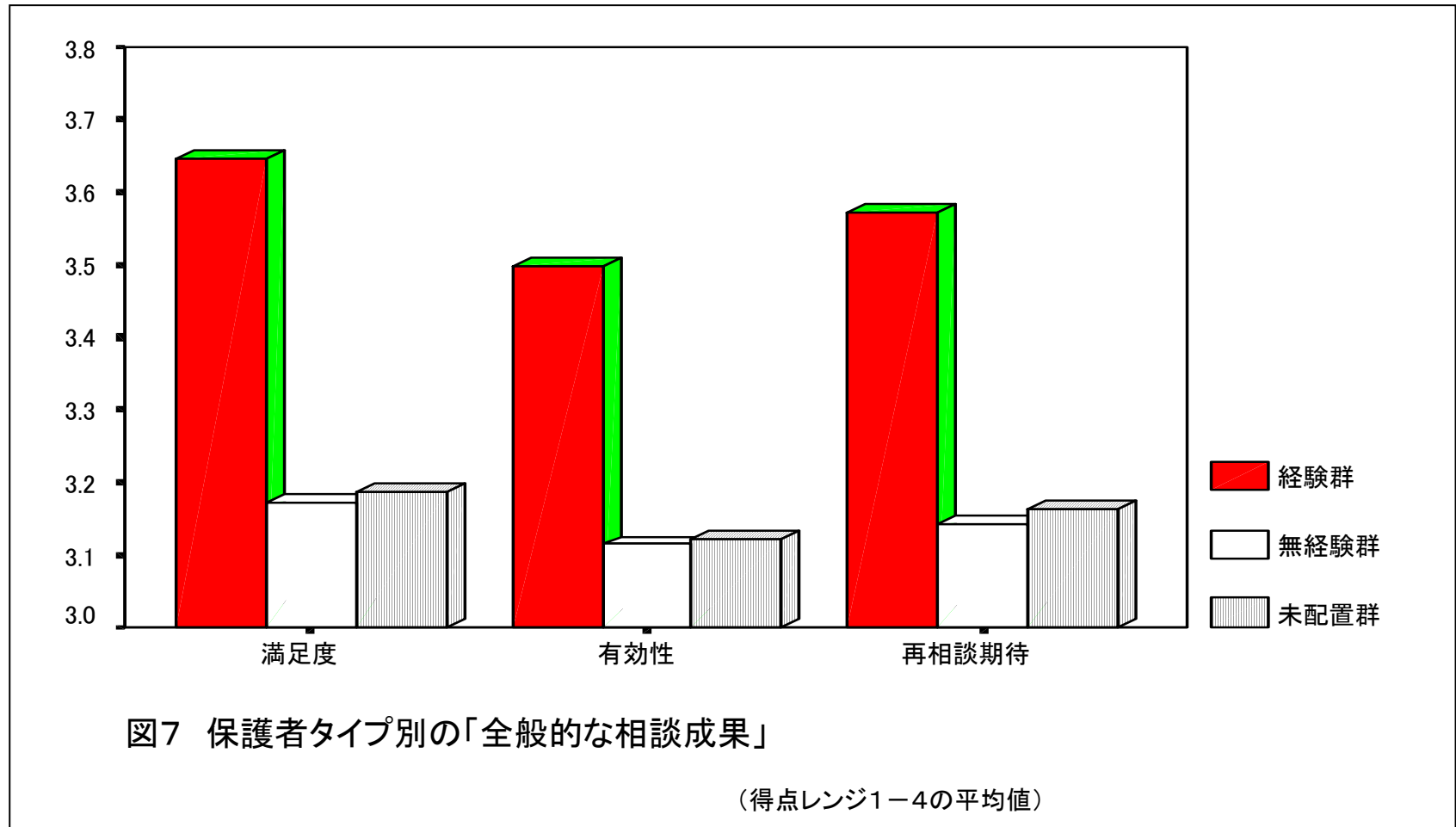


図3 経験群の校種別「相談イメージ」

(得点レンジ1-4の平均値)

(本間 友巳 2001.3)

スクールカウンセラーへの全般的な 相談成果



スクールカウンセラーへの相談成果

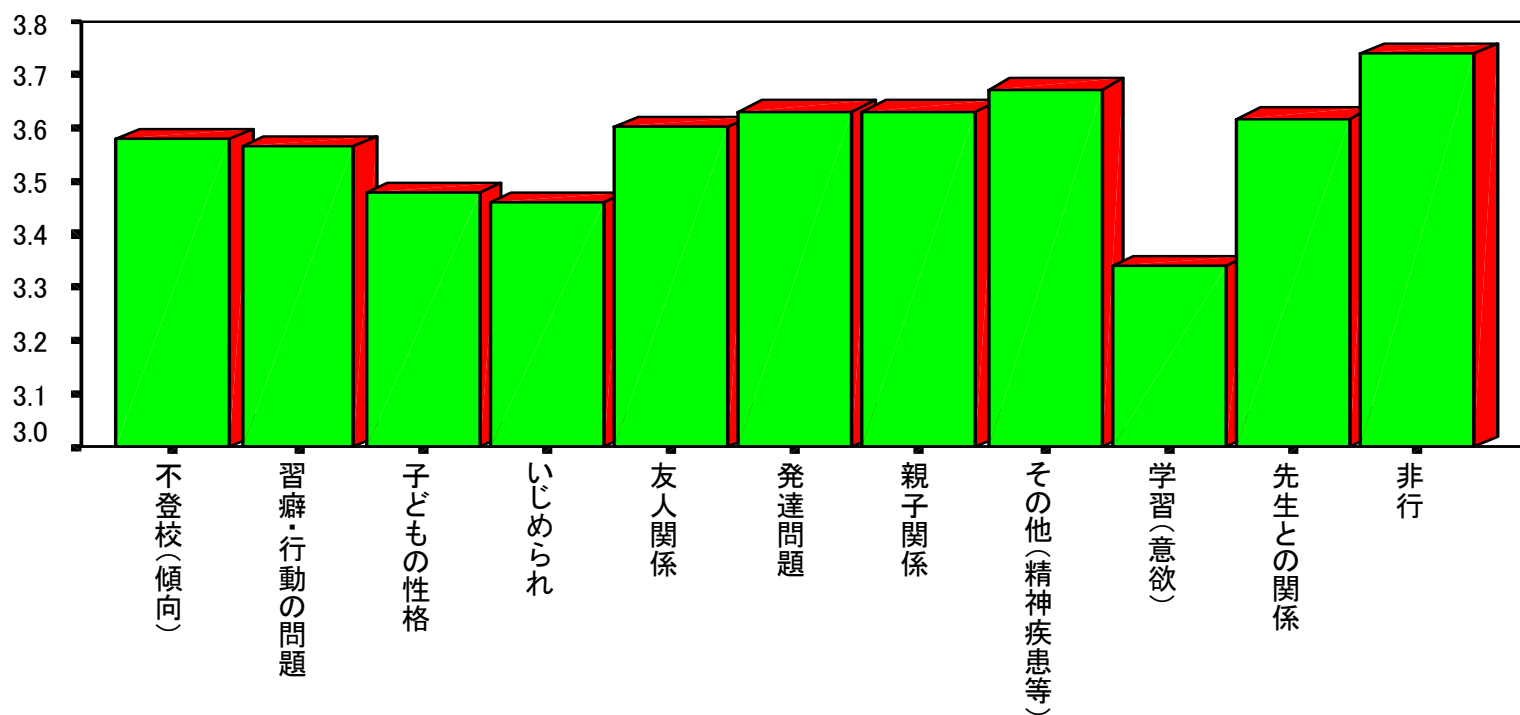
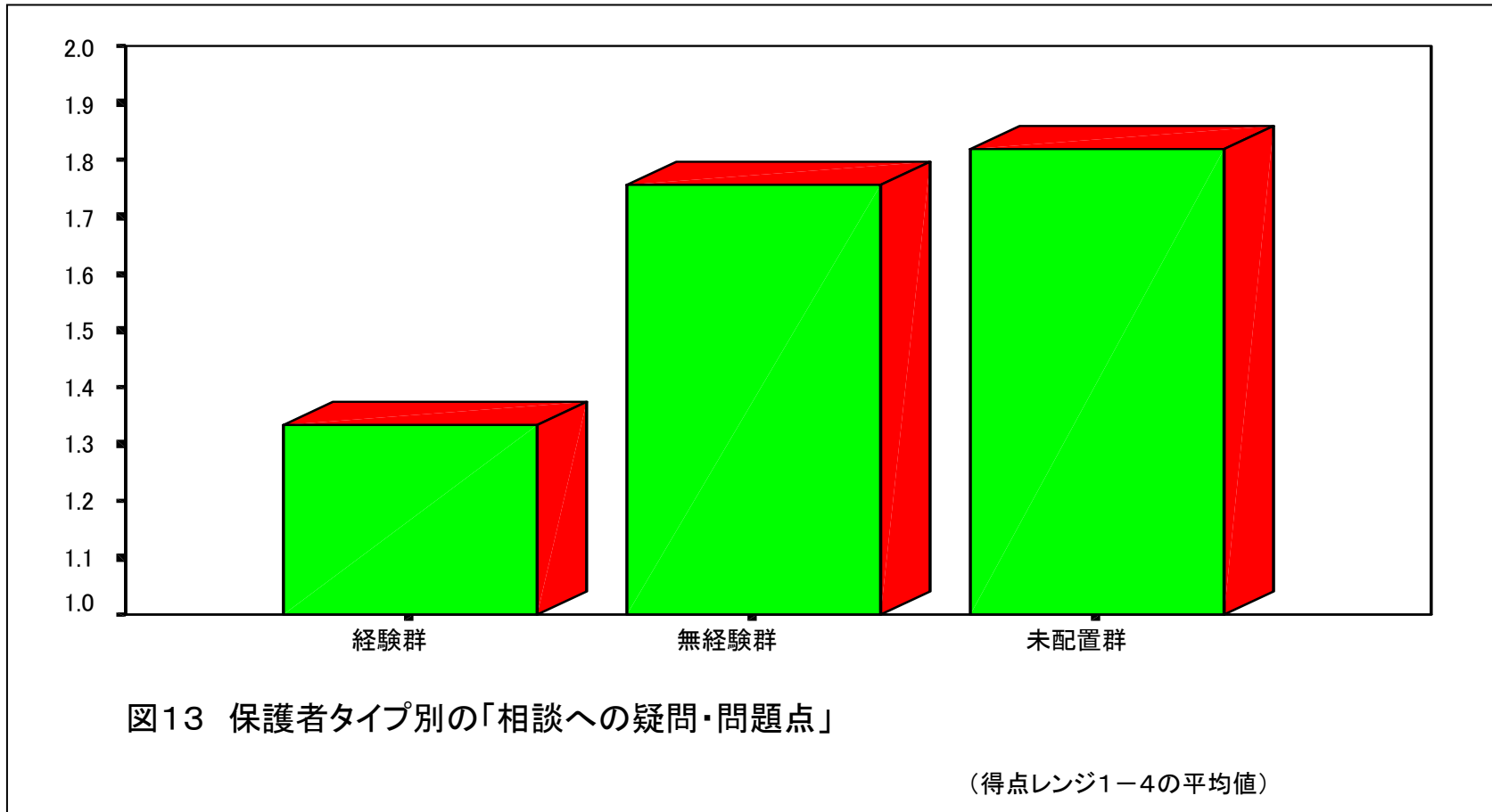


図8 経験群の相談内容別「全般的な相談成果」

(得点レンジ1-4の平均値)

(本間 友巳 2001.3)

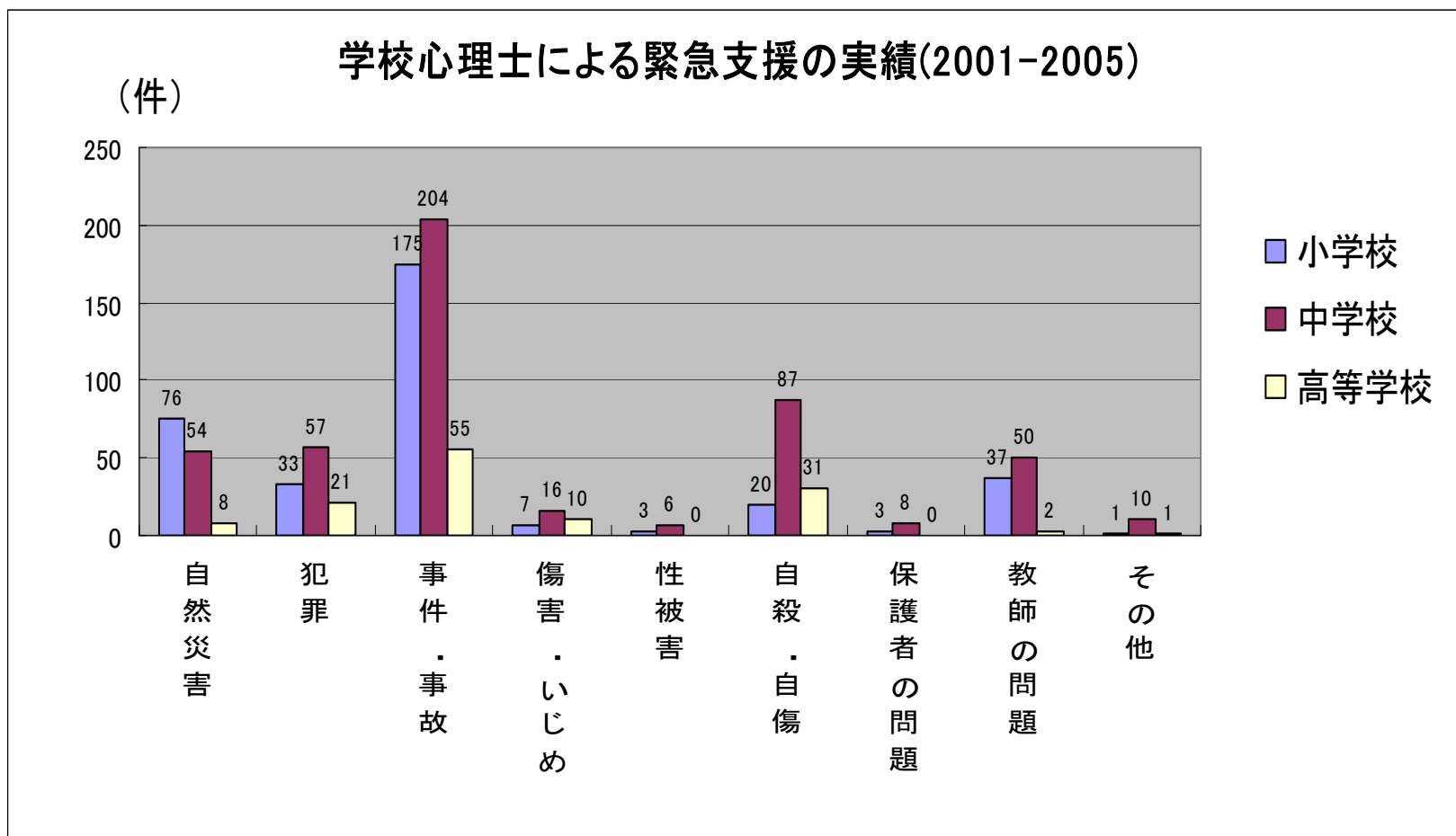
スクールカウンセラーの相談への 疑問・問題点



6. 緊急支援体制の構築

1. 緊急支援の実績を多数重ねてきた。
(次ページのグラフ参照)
2. 組織的バックアップ体制(後方支援)
3. 緊急支援終了後の配置校スクールカウンセラーによる支援。
4. 危機を想定した心理教育、PTSDへの予防体制への貢献

緊急支援体制の実績



(学校臨床心理士ワーキンググループから 2006(複数配置でも1件=1としてカウント))

7. スクールカウンセラー研修と バックアップ体制機能の充実

例) 東京における資質向上への
バックアップ体制

<年間計画による定期的研究会・研修会>

- ①全体への事業推進にかかわる共通理解
- ②新規参入者への研修
- ③地域ごとの連携・相互支援

I .事業の発展と成果

II .「学校心理臨床の専門性」の確立

III .「外部性」の活用成果

IV .今後の課題

Ⅱ.「学校心理臨床の専門性」の確立

1. 臨床心理学的アセスメント
2. 心理療法の視点の活用
3. コンサルテーション
4. 組織に足場を置いた協働
5. コミュニティアプローチへの支援
6. 緊急支援
7. 予防教育

I .事業の発展と成果

II .「学校心理臨床の専門性」の確立

III .「外部性」の活用の成果

IV .今後の課題

Ⅲ.「外部性」の活用成果

1. 心理臨床領域に専門性を持つ「外部性」
2. 定点観察
3. 全体像の把握
4. 他機関との連携

I .事業の発展と成果

II .「学校心理臨床の専門性」の確立

III .「外部性」の活用の成果

IV .今後の課題

IV. 今後の課題

1. 学校内における専門性の定着
2. 「外部性」を維持しながらの安定的な協働

スクールカウンセラーの条件に対する立場的回答

	常勤職にする	非常勤		
		増やす	今のまま	減らす
管理職	188(35.5)	288(54.3)	50(9.4)	4(0.8)
生徒指導	96(39.2)	131(53.5)	16(6.5)	2(0.8)
相談係	182(43.5)	185(44.3)	49(11.7)	2(0.5)
養護教諭	37(33.3)	56(50.5)	15(13.5)	3(2.7)

「今のまま」と「減らす」とをまとめて χ^2 検定を行った結果： $\chi^2(6)=16.65*$
伊藤美奈子 2000